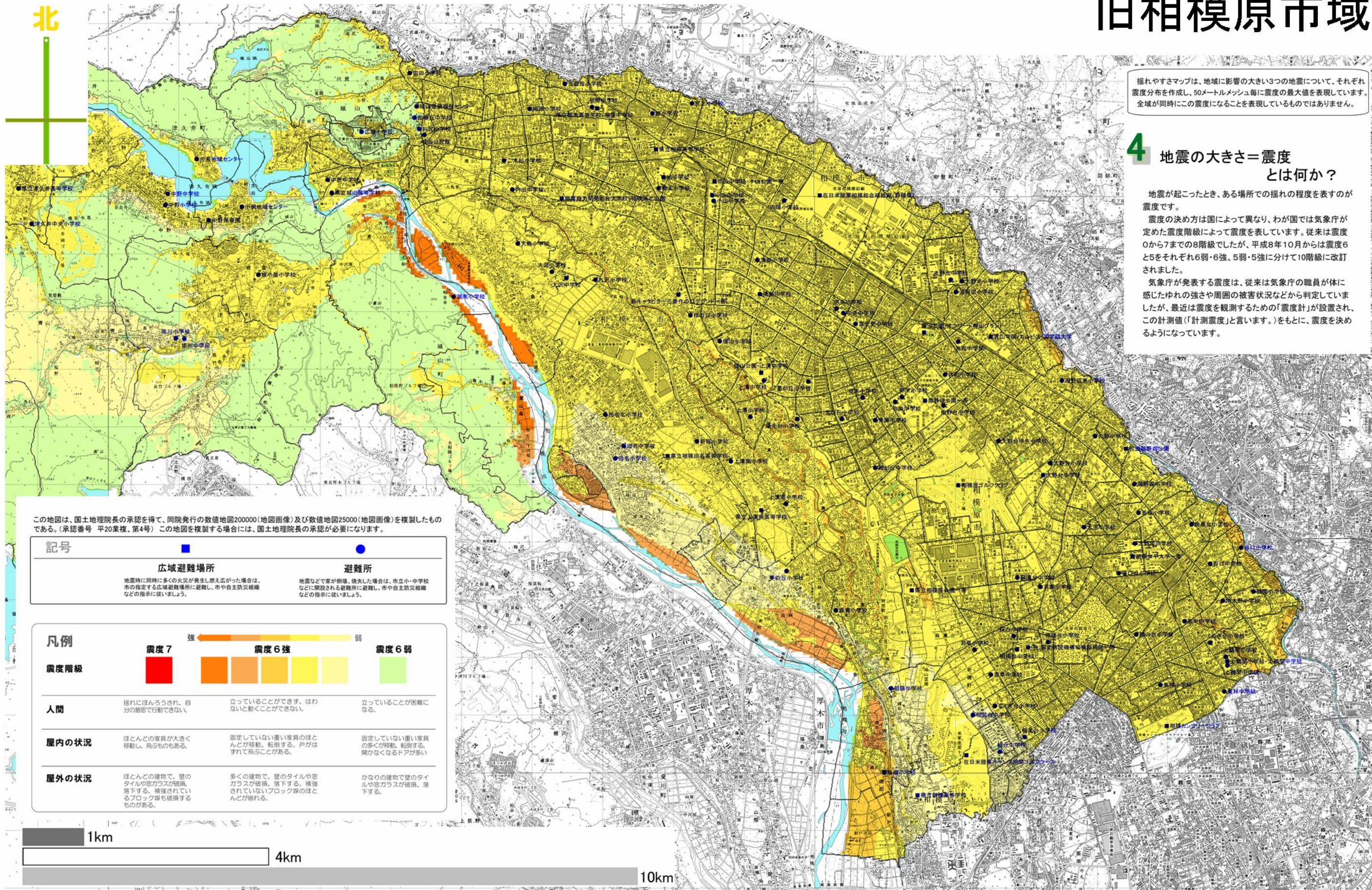




# 相模原市 揺れやすさマップ

## 旧相模原市域



揺れやすさマップは、地域に影響の大きい3つの地震について、それぞれ震度分布を作成し、50メートルメッシュ毎に震度の最大値を表現しています。全域が同時にこの震度になることを表現しているものではありません。

### 4 地震の大きさ=震度とは何か？

地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。

震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定めた震度階級によって震度を表しています。従来は震度0から7までの8階級でしたが、平成8年10月からは震度6と5をそれぞれ6弱・6強、5弱・5強に分けて10階級に改訂されました。

気象庁が発表する震度は、従来は気象庁の職員が体に感じたゆれの強さや周囲の被害状況などから判定していましたが、最近は震度を観測するための「震度計」が設置され、この計測値（「計測震度」と言います。）をもとに、震度を決めるようになっています。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平20業複、第4号) この地図を複製する場合には、国土地理院長の承認が必要になります。

記号	■	●
<b>広域避難場所</b>		
地震時に同時に多くの火災が発生し燃え広がった場合は、市の指定する広域避難場所に避難し、市や自主防災組織などの指示に従いましょう。		
<b>避難所</b>		
地震などで家が倒壊、焼失した場合は、市立小・中学校などに開設される避難所に避難し、市や自主防災組織などの指示に従いましょう。		

凡例	震度階級		
	震度7	震度6強	震度6弱
<b>人間</b>	揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。
<b>屋内の状況</b>	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸がはずれて飛ぶことがある。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い
<b>屋外の状況</b>	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが倒れる。	かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。

